

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

全国に広がるローカル線存続の取り組み

【芸備線】広島県庄原市

3月26日、J R芸備線・備中神代駅（岡山県）―備後庄原（広島県）駅間の存廃等に関して全国初の「再構築協議会」会合が開かれました。その2日前、



芸備線存続に向けての市民集
会が沿線の庄原市で開かれ約
400人が集まりました。

「廃線は沿線の人口減少を
加速させる。赤字を基準に判
断すべきではない」「芸備線
は接続が悪く使いたくても使
えない」（運動を）全国的な
ネットワークに広げていきたく
いとの訴えが行われました。

【米坂線】新潟県村上

「米坂線の早期復旧と地域
活性化を考える会」は23年11
月に発足し、すでに会員数は
2000人超です。4月には
2500筆の署名を提出。「年
をとれば運転できなくなる。
バスも運転手がいなくなり廃
止される。どうやって生きて
いくのか」という切実な声が



あがっています。

5月19日には沿線自治体の元教育長が講演する集
会に約70人が参加。「地域の交通サービスは公が維
持するべきで、赤字を理由に切っただけではいけない」「鉄
道がなくなると地盤沈下が進む」と鉄道存続の重要
さを訴えました。



【米坂線】山形県飯豊町

5月31日、米坂線復旧をす
める飯豊の会の設立総会が
開催されました。沿線の飯豊
町、小国町と新潟県関川村の
首長や議長らも出席し、署名
活動などの取り組みが報告さ
れました。

【米坂線】山形県

6月17日、山形県では「J
R米坂線開業百周年記念事
業実行委員会」が早期の復
旧を求める約1万人分の署
名をJ R東日本に提出しま
した。さらに7月以降、約
1万1500人分の署名を提
出予定です。

